



特集1

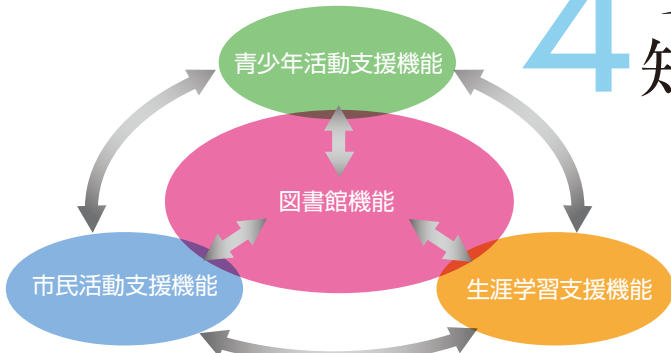
武蔵野市立 ひと・まち・情報 創造館

武蔵野プレイス オープン!

あなたのワクワクを
世界とつなげる
武蔵野プレイス

今年7月、武蔵境駅前に「武蔵野市立 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」がオープンしました。「新しい図書館ができたの?」と思っている方も多いはず。確かに図書館施設もありますが、それだけではありません。武蔵野プレイスは、図書館機能と、市民活動や青少年活動、生涯学習を支援する機能が有機的に交わる、新しい複合施設なのです。誕生したばかりの武蔵野プレイスを育てていくもの、それはあなた自身の「何かをしてみたいな」というワクワクする気持ちです。

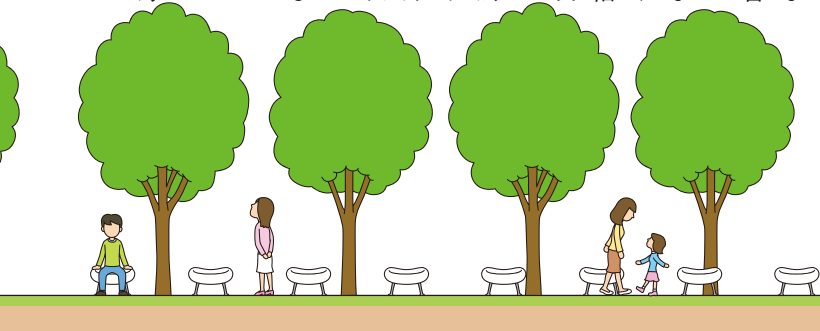
4つの機能が刺激し合い、知的な活動を創造する



地上4階、地下3階からなる武蔵野プレイスの柱となるのは地下2階から地上2階のフロアに配置された図書館機能。14万5000冊の蔵書と600タイトルの雑誌、さらにはインターネットやデータベースでの資料検索など充実した機能を持っています。しかし、武蔵野プレイスの機能は図書館だけではありません。各フロアに、幅広い世代の市民の知的な活動を支援するための機能が展開されています。

地下2階は青少年活動支援エリア。若者たちの居場所となるラウンジや、音楽やダンスのスタジオなどがあり、青少年の活動を応援します。3階は市民活動の場。登録した団体が会議をしたり、広報紙を制作する環境を提供するとともに、スタッフが団体同士または個人と団体との橋渡しをします。そして4階は、生涯学習を支援します。200名が入れるフォーラム（会議室）では地域の大学や研究機関とともに講座などを開催します。

4つの機能が互いに刺激し合いながら、新しいコミュニケーションと知的活動が生まれる場所。それが武蔵野プレイスです。



「境南ふれあい広場公園」同時オープン

武蔵野プレイスと武蔵境駅南口を結ぶ境南ふれあい広場公園もプレイスのオープンに合わせて開園しました。特徴は、駅前という都市空間の中で豊かな緑を提供していること。公園中央の「みどりの広場」を囲むようにケヤキやイチョウの高木を配して、隣接する緑との連続性を持たせています。この公園は、地域のまちづくりの核として、地域活性化を図るためのイベントを行う場所としても活用していく予定です。



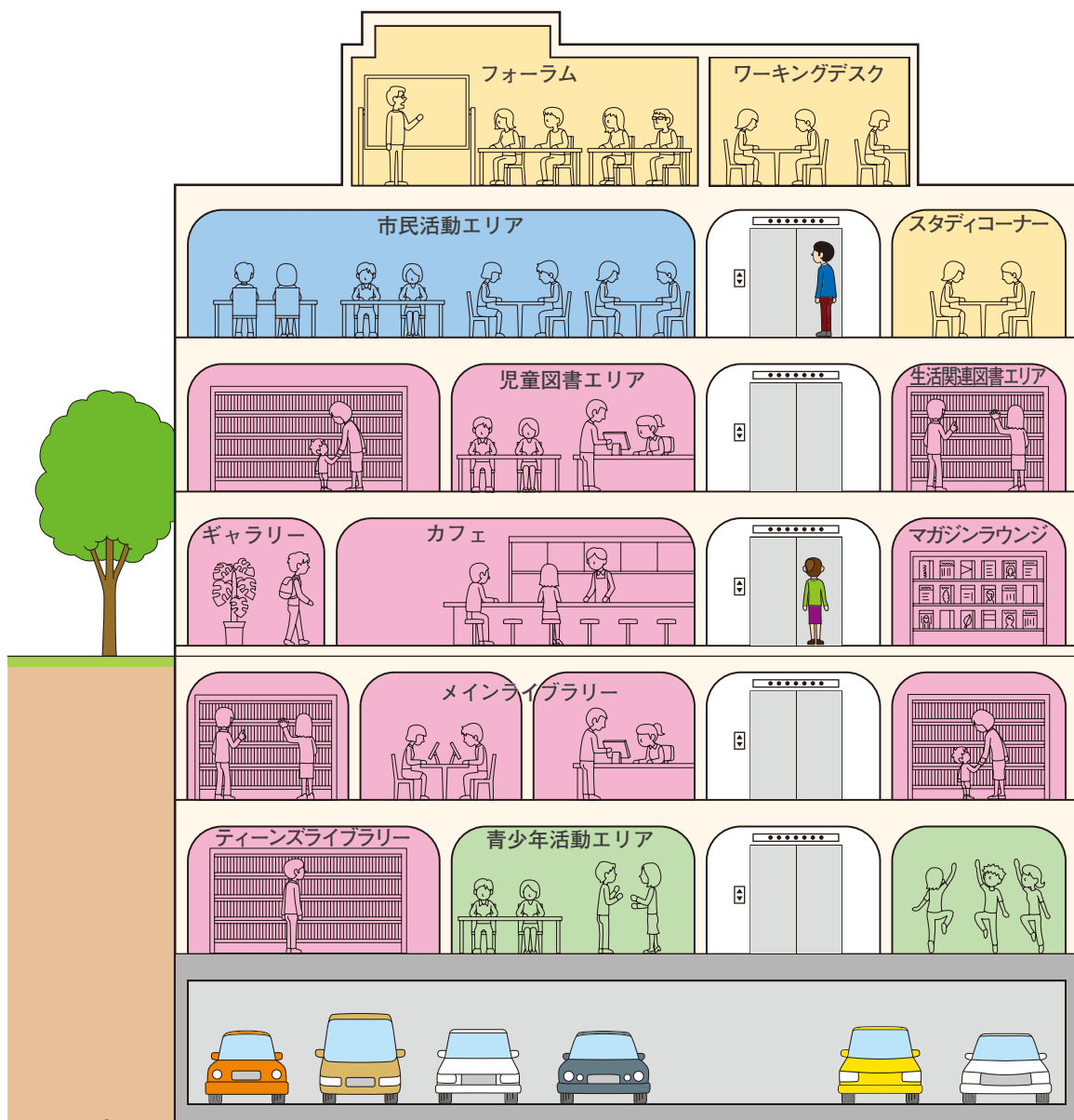
武蔵野プレイス誕生までの経緯

昭和48年度	東京食糧事務所長に農林省(当時)食糧倉庫跡地払い下げの要望書を提出
昭和57年度	東京都知事に「東京都長期計画に対する要望書」を提出し、青少年文化センターの誘致を要望
平成2年度	倉庫が解体され、更地になる
平成3年度	市議会全員協議会開催。食糧庁に対して、市として跡地買受を要望
平成9年度	市議会全員協議会開催。市議会農水省跡地利用計画検討特別委員会設置
平成10年度	食糧庁に「武蔵境食糧倉庫跡地利用計画」を提出。跡地取得が完了
平成11年度	「武蔵野市中心市街地活性化基本計画」を策定
平成12年度	「新公共施設基本計画策定委員会」を設置
平成13年度	「市第三期長期計画第二次調整計画」において、「武蔵境のまちづくりの推進」の一環として、「武蔵境の地区図書館をはじめとした、知・文化・自然・青少年をテーマとする文化施設の建設を進める」として施設を位置付ける
平成15年度	武蔵境新公共施設設計プロポーザルを実施
平成16年度	「農林省跡地利用施設建設基本計画策定委員会」を設置
平成17年度	「市第四期基本構想・長期計画」において、「知的創造拠点として図書館機能を中心とした『新公共施設』を建設し、多世代にわたる利用と広域的な市民活動の場とする」として施設の整備を位置付ける
平成18年度	「武蔵野プレイス(仮称)専門家会議」を設置
平成19年度	「武蔵野プレイス(仮称)管理運営基本方針」を策定
平成20年度	「市第四期長期計画・調整計画」において、この地域のまちづくりの核として施設を位置付ける。施設名称を公募「武蔵野市立ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」に決定
平成21年度	1月建設工事着手 「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス管理運営指針」を策定
平成22年度	「武蔵野市立武蔵野プレイス条例」制定 1月竣工
平成23年度	7月9日オープン



施設概要

所在地	武蔵野市境南町2丁目3番18号
敷地面積	2,166.20㎡
建築面積	1,571.47㎡
延床面積	9,809.76㎡
階数	地上4階、地下3階
最高高さ	GL + 19.900m
構造	SRC造、RC造
設計	有限会社kw+hgアーキテクツ
開館時間	午前9時30分～午後10時
駐車場	28台、駐輪場：145台
休館日	水曜日(毎月第3金曜日と同じ週の水曜日と1月5日以降の第1水曜日は開館します)および毎月第3金曜日、年末年始、図書特別整理日 ※水曜日が祝日にあたるときは翌平日を休館します





サーチバー (B1F)

インターネットと接続した10台のパソコンを使って、調べものができます。また、オンラインの有料データベースを利用して新聞記事検索や武蔵野市地域映像アーカイブの閲覧ができます。

マガジンラウンジ (1F)

北側エントランス左手の壁一面に並ぶのは雑誌や新聞の最新号。雑誌は約560誌、新聞も30紙を取り揃えています。ここでは大人向けの雑誌がメインで、児童向け雑誌20誌は2階、青少年向け雑誌20誌は地下2階で閲覧できます。



新着・返却資料棚 (1F)

この棚には、新着図書と当日に返却された図書が並んでいます。新しい本や誰かが借りた本には読書を広げるヒントがあります。ぜひチェックして、思いがけない本と出会ってみましょう。

アート&ティーンズライブラリー (B2F)

地下2階には、芸術に関する書籍(9000冊)、青少年向けの本(6000冊)と雑誌(20誌)を集めています。同じフロアには青少年たちが集うスタジオラウンジがあるので、その場で盛り上がった話題の本をすぐに探せます。



図書館

充実した内容と居心地のよさ 知の世界を広げる導入の「場」

武蔵野プレイスを図書館として訪れる方も多いことでしょう。でも、ここは普通の図書館とは少し違います。館内にカフェがあり雑誌などが持ち込める。各フロアの機能と連携して蔵書が分散している。そのため、目的に応じて必要な資料をすぐ入手することができます。また、インターネットやデータベースを使った情報検索も可能です。貸し出しや返却は自動処理。そして普通の図書館のように館内が静かではありません。最初は、その少しざわざわした雰囲気戸惑うかもしれませんが、すぐに居心地良く感じるはず。親子で、友達と一緒に、もちろん一人でも、気軽に立ち寄って、本に触れ、思い思いの時間を過ごしてください。

1階フロアの中央にはカフェがあります。マガジンラウンジの雑誌などを持ち込むこともでき、コーヒーやスイーツを味わいながらゆったりと本を読めます。食事はもちろん、夜間はアルコールも提供しています。



ここは図書館でありながら、静かすぎず、リラックスできる過ごしやすい場所。みなさんの生活の一部になってほしいなと思います。どうぞ、ここから新しい世界を広げてみてください。自由な発想がブレイスを育てます!





ワークラウンジ (3F)

作業や簡単なミーティングを行えるオープンスペースです。テーブルの脇にあるサインボードには使用している団体名を表示してありますので、一般の方は興味のある団体の活動を見学したり、声をかけたりすることができます。

メールボックス／ロッカー (3F)

団体宛のチラシなどを受け取ることができる「メールボックス」(60台)や印刷に使用する用紙や各団体の活動に必要な事務用品などを収納できる「ロッカー」(40台)を用意しています。どちらも申し込み多数の場合は抽選。



プリント工房 (3F)

活動で必要となる会報やチラシを作成するための印刷機、コピー機、裁断機、紙折機、大型ホチキスなどが用意されています。印刷が終了したらワークラウンジの大きなテーブルで製本や発送の作業を行えます。

市民活動支援

活動の幅を広げる出会いも生まれる 市民活動に開かれたオープンな「場」

「市民活動には興味があるけど、参加するチャンスがない…」そんな方も多いのではないのでしょうか？武蔵野プレイスには、数多くの市民活動団体が登録しており、活動の場として利用しています。登録団体は、会議などを行えるワークラウンジや印刷物を作成するための機器が揃ったプリント工房を利用できます。特徴は、登録団体が活動の内容をオープンにしていること。来館者は、各団体の活動内容を簡単に知ることができ、プレイスのスタッフに相談すれば団体への紹介もしてくれます。プレイスでの出会いをきっかけに、地域や関心ある領域へ活動を広げていく。これもプレイスの機能のひとつです。

ここは「つながり」が生まれる場所です。市民と団体、団体と団体が出会い、市民活動を豊かに広げられます。活動をもっと広げたい団体の方、何か活動してみたい個人の方、どうぞ3階に足を運んでみてください。

市民活動支援担当
むこうだつねこ
向田恒彦さん



さらに広がる施設活用ガイド



プレイスを訪れた親子。まずは、2階の「おはなしのへや」で絵本を楽しむ。靴を脱いでリラックス。



2階には「テーマライブラリー」も。お母さんは雑誌、子どもは絵本を楽しむ。目が届くから安心。



3階の「市民活動情報コーナー」は団体の情報があるので、何かに興味が湧くかも。飲食も可。



3階の「ワークラウンジ」では団体が活動中。スタッフに声をかければ団体の方に紹介してくれます。

青少年活動支援

やりたい気持ちを応援する 青少年に居心地のよい「場」

武蔵野プレイスの地下2階は中学・高校生世代を中心とする青少年（ティーンズ）を対象としたフロアです。音楽やパフォーマンスのスタジオ、料理やモノづくりのスタジオ、クライミングウォールや卓球台のあるスタジオなど、若者たちの活動を支援します。今後は、バンドやダンスの発表会、カードゲームの大会など、プレイスを利用する若者たちの主催でイベントが行われるかもしれません。フロアのスタッフたちも、青少年たちの好奇心を応援してくれます。とにかく、一番大切なのは、ここが青少年にとって居心地のよい場所となること。家でも、学校でもない場所で、青少年がリラックスできる場所があることが何よりも大切なのです。



スタジオラウンジ (B2F)

青少年だけが思いのままに時間を過ごせるスペース。おしゃべり、ゲーム、勉強、読書、飲食まで、周りの人に迷惑をかけることなくであれば、何でもOKです。柱の掲示板には世界を広げる情報があるかもしれません。

クラフトスタジオ (B2F)

友達と一緒にのお菓子づくりやモノづくりは楽しいけれど、家や学校ではなかなか自由にはできないもの。この部屋には、IHクッキングヒーター、オープン、マシンなどがあるので、「つくる」時間を過ごせます。



サウンドスタジオ (B2F)

「友達とバンドやダンスを始めたいけど練習場所がない…」そんな要望に応えたのが2つある音楽のスタジオです。ドラムやアンプ（サウンド）、シンセサイザーなどを備えた本格的なスタジオで、自主的な創作活動をサポートします。



さらに広がる施設活用ガイド

目指しているのは、青少年のみんなにとって『居心地のよい場所』。何にもやることがないときに、ふらっと寄ってくれればいい。目的なんかなくてもいい。何かやりたくなったらスタッフに気軽に声をかけてね。スタッフみんなが待っています！

青少年活動支援担当
たかにひでひさ
高荷英久さん



地下2階の「スタジオラウンジ」は青少年だけの場所。柱にはみんなに見てほしい情報も掲示できます。

チラシを見た高校生。どうやらバンド募集に興味を持ったようです。まずはスタッフに相談。



同じフロアには青少年向けの本がずらり。バンドに挑戦するにはレッスン本を借りてみよう。





フォーラム (4F)

会議や講座、講演会などを行える多目的のスペースです。収容人数は、椅子のみを使った場合で最大で約200人。3階には10人から40人ほどで利用できる会議室も5部屋 (スペースA～E) あります。

ワーキングデスク (4F)

静かな環境で集中して仕事の資料づくりや勉強、読書をしたい社会人向けの書斎のような空間。一部の席ではパソコンの持ち込みも可能です。背もたれの高いワーキングチェアも長時間のデスクワークの強い味方です。利用は有料で、来年度からはインターネットでの予約も可能。



スタディコーナー (3F)

読書や調べものができる学習スペースです。市の図書館カードがあれば無料で利用できます。



生涯学習支援

質の高い講座と整った設備 世代を越えて学ぶ心を応援する「場」

新しい何かを学ぶことは年齢を問わず人生の喜びです。武蔵野プレイスは、そんな「学びたい」心を支援する機能も兼ね備えています。市内や近隣にある大学と連携し、さまざまな講座を企画するとともに、60歳以上の方を対象とした仲間づくりの連続講座などもあります。また、成人だけでなく、小・中学生を対象とした学校とは一味違う内容の講座も開催。4階にはこういった講座や講演会などを実施する会議室のほかに、社会人が落ち着いて勉強や読書をするためのワーキングデスクもあります。武蔵野プレイスは、学びを追求し、知の世界を広げていくためのお手伝いをします。

大人も子どもも生涯学習

大人向け

「武蔵野地域自由大学」や「武蔵野地域五大学共同講演会・共同教養講座」など教養を高める講座、高齢者を対象としたセミナーなどプログラムが豊富です。

子ども向け

地域の大学や研究機関の学術関係者などが小・中学生向けに分かりやすく講義する講座。分野も国際理解、経営、ロボット、音楽、朗読など幅広いです。

さらに広がる施設活用ガイド



会社帰りや休日は静かなワーキングデスク (4階) で集中して勉強。

ワークラウンジ (3階) で同窓生に再会。地域の活動に参加する機会も。



プレイスでは商用データベース (地下1階) も利用できるから本格的な検索も可能。

カフェ (1階) でひと息つきながら気になる雑誌に目を通し情報収集。



地域のつながり